教科等研究会（小学校生活・総合的な学習部会）
平成３０年度　研究活動のまとめ

１　研究テーマ

豊かな体験に支えられ　学びをつなぎ　学びを深める子どもの育成
～児童一人ひとりが輝く授業づくりを通して～

２　研究経過

第１回			第２回			第３回			第４回		
期日	人数	場所	期日	場所	内容	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
五月二十四日（木）	二十四人	広安小学校	八月七日（火）	清和小学校他	農業体験研修 郷土料理実習	十月二十六日（金）	蘇陽小学校	蘇陽小 二年担任 堀田 星子 講師	一月二十四日（木）	七滝中央小学校	七滝中央小一年担任 池上 幸 教諭

３　研究の概要

(1)　研究の内容

平成２５年度に熊本県小学校生活科・総合的な学習の時間研究大会を上益城郡で開催して以来、その研究を教科等研究会で深めてきた。本年度、新たに会員となった先生方とともに、これまでの研究の成果と課題をふまえながら、また、上益城郡教科等研究会全体テーマを受けて、本年度の当部会のテーマを「豊かな体験に支えられ　学びをつなぎ　学びを深める子どもの育成」とし、サブテーマに「児童一人ひとりが輝く授業づくりを通して」と掲げて、研究を行ってきた。

①　研究主題について

○「豊かな体験」とは

子どもたちの中に感動や葛藤が生じ、知的好奇心を高め、探究的な学習へつなぐことができる体験

○「学びをつなぐ」とは

子どもが「探究的」「横断的・総合的」「協同的」な学習を発展的に繰り返し、気付きの質を高めたり、思考を広げたり深めたりしていくこと

○「学びを深める」とは

自分のよさや成長が分かり、学習したことを自分の生活や生き方に生かし、社会の中での自分を見つめ、主体的に行動していこうとすること

②　研究の視点について

研究の視点１　探究的な学習過程における豊かな体験活動の工夫
研究の視点２　気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実
研究の視点３　子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫

(2)　成果と課題

年間反省のアンケートより（○成果　●課題）

○研究授業では、児童がいきいきと活動したり、気付きを交流したりする姿が見られた。２回の研究授業とも地域素材をもとにした学習内容であり、地域のよさに気づき、そのすばらし

さを伝えるための多様な探究活動がなされていた。

○授業研究会では、自分たちで調べた事をグループで交流・活動していく協働的な学習を通して、個々の学びが深まっていくことの重要性を共有することができた。また、研究会では、小グループで意見を交流する時間を設け、会員も互いに学び合う充実した研究会となった。

○体験研修では、ふるさと食の名人の方に直接教えていただき、貴重な体験となり、上益城の地域素材の素晴らしさを再認識できた。

○ここ数年、生活科の授業が多く、今回、総合的な学習の時間の研究授業があってよかったという意見が多かった。「貴重な学びの機会となった」、「生活科から総合的な学習の時間へのつなぎについて考えさせられた」、「総合的な学習の時間の全体計画や年間指導計画を作成する上での貴重な情報を得ることができた」等の意見があった。

●総合的な学習の時間では、課題解決を通して得た情報を整理・分析・表現・交流するそれぞれの学習過程で、有効な言語活動が大切であることの再確認ができた。

●新学習指導要領においても総合的な学習の時間の重要性が謳われているので、来年度も可能であれば、生活科と総合的な学習の時間の授業研究会を実施していきたい。

4　実践事例

(1) 授業の概要

第２学年　生活科　単元「つたわる　広がる　わたしの生活」
授業者　堀田　星子　講師（山都町立蘇陽小学校）

① 研究の視点にそった授業づくり

研究の視点１「探究的な学習過程における豊かな体験活動の工夫」

・学習発表会で地域の人々に「蘇陽の素敵を伝えよう」という目的意識や相手意識を持って、みんなで準備ができるようにする。

・新聞作りや劇の準備をする段階で生じた疑問や不確かなことを、友達と交流したり地域の人々から情報収集したりと体験活動と表現する活動を繰り返すことで、気付きの質が高められるようにする。

研究の視点２「気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実」

・気付きや試行段階が見えるように、個人で考えたり友達と交流したりする際に、操作化ができる思考ツールを用いる。

・他教科との横断的、合科的な学習によって、他教科で培った力を活かす。

研究の視点３「子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫」

・今までの記録カードを個人でまとめておくとともに、全体で交流したことでさらに深まった気付きを掲示しておき、児童がいつでも振り返られるようにしておく。

・自己評価カードで学習を振り返り、児童が自分自身の成長を感じられるようにする。

② 授業研究会

○自評から

・学習発表会を１学期からの探検を通して見つけてきた気づきを伝える場として位置付け、本時は、その学習発表会に向けた準備として、劇の中の台詞をつくる過程の中で交流に取り組ませた。

・グループを「人」「自然」「もの」の３つの視点に分けて、思考ツールの１つである「スイカチャート」を使った交流をさせた。子どもたちの思考の動きがなかなか見とれなかったが、どのグループも子どもたちなりに理由を言いながらまとめていけたのではなかったかと思う。

○質疑応答・協議から

・子どもたちの集中して話し合いに取り組む姿、堂々と発表している姿から、研究の視点１～３に関する日頃の取組がうかがえた。

・子どもたちはスイカチャートのやり方もよく分かっており、主体的に取り組んでいた。

・シートの中の情報量が多すぎていたので、まとめていく際には、キーワード等を生かしていく工夫などがあった方がよかったのではないだろうか。

・スイカチャートでまとめていく際には、ゆさぶりの問いかけや対話を重ねていくことで、さらに子どもたちの思いを引き出せたのではないだろうか。

○指導助言から

・教室の中の掲示物から、子どもたちのこれまでの学習の流れがとてもよく伝わってきた。

・本時の学習でも、どの子にも活躍の場が設定され、意欲的に取り組んでいる姿が見られた。

・操作化ができる思考ツールの導入、常に目的や相手意識を確認させながら取り組まれるなど、数多くの工夫がなされた授業であった。

・自分たちの暮らしや体験に密接に結びついているものからの気づきは、より主体的で対話的な深い学びにつながり、あらためて生活科が体験を重視する教科であることの再確認ができた。

(2) 学習指導案

① 単元の目標

地域に関わる活動を通して見つけたことを振り返り、自分の心に残った地域の出来事を身近な人に伝えたいという思いをもち、伝えたい内容や表現方法を自分なりに考えたり工夫したりしてまとめることができる。また、まとめたことを身近な人々と伝え合う活動を通して、互いに交流することのよさに気付き、地域への親しみをもって進んで交流できるようになる。

② 単元の評価規準

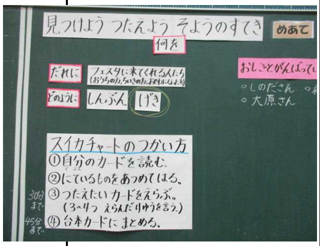
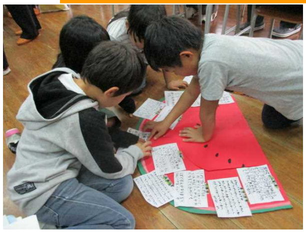
A 生活への関心・意欲・態度	B 活動や体験についての思考・表現	C 身近な環境や自分自身についての気づき
地域で関わったものや人、その関わりを通して見つけたことなどの、自分の心に残った出来事を、友達や地域の人々と伝え合おうとしている。	伝える相手や目的に応じて、伝える内容や表現方法を自分なりに考え、分かりやすい伝え方を工夫しながら交流をしている。	身近な人々と関わることの楽しさや互いに交流することのよさが分かるとともに、地域への親しみや愛着が増したり、人々と適切に交流できるようになったりした自分たちの成長に気付いている。
①伝えたいことを表現する方法を考えようとしている。 ②伝えたいことや伝え方を友達と話し合おうとしている。 ③フェスタに招待した身近な人々と、地域のよさについて伝え合おうとしている。	①伝えたいことを選び、伝えたい相手に合った伝え方を決めている。 ②友達と交流しながら、伝える内容を考えている。 ③もっと知りたいことについて、さまざまな手段を適切に使い、情報を集めている。	①情報収集の手段によって、地域の人々との関わりが深められたことに気付いている。 ②自分の心に残ったことが、身近な人々に伝わる楽しさに気付くとともに、地域への親しみや愛着が増し、人々と適切に交流できるようになった自分たちの成長に気付いている。

③ 本時の学習

ア 本時の目標

友達と気付きを交流し、分類したり比べたり理由付けしたりしながら、伝える内容を決めることができる。

イ　本時の展開

過程（分）	学習活動	教師の指導・支援及び指導上の工夫 （○発問、指示　・指導上の留意点　☆評価）	備考
導入 （３）	１　本時のめあてをつかむ。	○フェスタで劇にして伝えたいことを決めましょう。 ・誰に何をどのように発表するのかを明確にしておく。	
	めあて　げきにして　つたえたい「そようのすてき」をきめることができる		
展開 （３９）	２　探検で見つけた蘇陽の素敵を出し合う。 ３　スイカチャートの仕方を確かめる。 	○今までの探検で、どんなステキなことがありましたか。 ・前時までの探検で発見したことを３つの視点から思い出させる。（人・自然・ものの３つのグループ） ○スイカチャートで一番伝えたいものを決めて欲しいと思います。 ・班活動に入る前に、思考ツールの使い方や話し合いの仕方を確認し、提示しておく。 おきゃくさんのえがおを見ると　うれしいんだって	探検マップ 探検の記録カード 話し合いの型
	４　班で伝えたい素敵を決める。 （１）カードを分類する。 （２）伝えたい内容を絞る。 （３）台詞を作る。	○班で伝えたい「蘇陽の素敵」を話し合いましょう。 ・素敵だと思うことの理由も言うように伝える。 ・それぞれの班の活動の様子を把握し、進行のめやすとなる時間を適宜伝えていく。  ○劇のように言葉を変えて台詞を考えてみましょう。 ・気づいたことに対して対話や問いかけで自覚させていく。 しぜんグループは、じぶんの気もちも　ちゃんと言っていて　よかったです	カード スイカチャート
	５　班で出し合ったことを全体で交流する。	○班でまとめてくれたことを発表してもらいます。しっかり聞きましょう。 ・発表を聞いて、質問や気づいたことを出させる。 ・伝えたい理由を尋ねていく。 	
終末 （３）	６　学習のまとめをする。	 ○今日の学習で思ったことを発表しましょう。 ・発表のよさや頑張りを再確認する。	自己評価カード